

微量 PCB 汚染物の焼却実証試験（第 6・7 回）の実施結果



The Knights

環境省は、平成 21 年 3 月に全国 2 箇所で行った微量 PCB 汚染物の焼却実証試験（第 6・7 回）の結果を公表し、いずれの試験においても試験試料中の PCB が安全かつ確実に分解されることを確認したとの報告がありました。

現在、PCB を含有していないと思われていたトランス等の中に、実際には微量の PCB が混入した絶縁油を含むもの（以下、微量 PCB 混入廃電機器等）が大量に存在することが判明しており、これらの処理体制の整備が課題となっています。

環境省はその整備に向け、現在稼働中の産業廃棄物処理施設等において微量 PCB 混入廃電気機器等が安全かつ確実に処理できることを確認するため、現在までに 5 回（第 6・7 回を除く）の焼却実証試験を行っており、いずれの試験においても試験試料中の PCB が安全かつ確実に分解されたことを確認しています。

第 7 回までの試験概要（特徴）

- | | | |
|-------|------------------------------|--------------|
| 第 1 回 | 試料…絶縁油 | 燃焼ガス…1100℃以上 |
| 第 2 回 | 試料…PCBを含む紙くず・木屑、絶縁油 | 燃焼ガス…1100℃以上 |
| 第 3 回 | 試料…絶縁油 | 燃焼ガス…850℃以上 |
| 第 4 回 | 試料…コンデンサ | 燃焼ガス…1100℃以上 |
| 第 5 回 | 試料…OFケーブル、変圧器、絶縁油を保管していたドラム缶 | 燃焼ガス…1100℃以上 |
| 第 6 回 | 試料…絶縁油 | 燃焼ガス…850℃以上 |
| 第 7 回 | 試料…絶縁油 | 燃焼ガス…850℃以上 |

※試料のPCB濃度はいずれも数十 ppm 程度

環境省では今後も、協力が得られる他の施設において、焼却実証試験を実施していく予定としています。

当社では、絶縁油中の PCB 分析について多くのお客様からご依頼を頂き、多検体、短納期の体制で行っておりますので、是非お任せ下さい。

資料 2009 年 7 月 14 日付 環境省 報道発表資料

クロマト分析箇所 神村悠介